

緊急のお知らせ

新型コロナウイルス感染症に伴う、ミサ中止についての発表

カトリック福岡教区の皆様へ

日本政府は、厚生労働省の専門家会議を通して、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための、具体的な意識喚起を促しました。ご存知のように、この2週間が感染拡大を抑えるための、非常に重大な時だということです。

陽性反応の患者が多い少ないではなく、感染拡大を如何に防ぐかが真剣に問われており、深い協力が求められています。

カトリック教会としてどのような対応を取るべきか、多方面の方々の意見を伺い、何よりもキリストの呼びかけに心を向け、祈りをもって熟考し以下の決定を致しました。感染拡大の危険を軽減し生命を守るために、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 2月27日(木)から3月14日(土)まで、公開のミサを中止致します。信徒には主日のミサに与る務めがありますが、3月1日と8日のミサ参加義務を免除致します。この期間、司祭たちは各共同体の信徒の皆さんとの霊的一致をもって、個人的にミサを捧げてください。
2. ミサ以外の集まりについても、中止か延期を勇気をもってご決断ください。
3. ミサに与れない痛み、苦しみは、とても大きなものです。しかし感染症に苦しむ方々をキリストと同じ眼差しで見つめ、個人として信仰共同体として、犠牲をもって四旬節を歩み始めましょう。

3月14日以降につきましては、追ってご案内致します。

これらの決定に対して、様々なご意見があるかと思いますが、皆様に寛大に共有くださるようお願い申し上げます。

何よりも、新型コロナウイルス感染症の終熄を祈り求めましょう。

2020年2月26日

カトリック福岡教区 使徒座管理者

杉原 寛信